



# 春日井ロータリークラブ

2023-24

クラブテーマ

「CHALLENGE FOR CHANGE」

Rotary  
Club of KASUGAI



世界に希望を生み出そう

会長：古屋 義夫  
副会長：加藤久仁明  
副会長：野浪 正毅  
幹事：速水 敬志  
会報委員長：岡本 博貴

事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
TEL：0568-81-8498  
FAX：0568-82-0265  
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp  
HP：https://www.kasugai-rc.org/  
例会場：ホテルプラザ勝川



2024年1月19日(金) 2577回 (1月第2例会)

## 本日のプログラム

	<b>司会 会場委員会</b>
・点鐘	会長 古屋 義夫君
・ROTARY SONG	「われら日本のロータリアン」
・今月の歌	「一月一日」
・ピジター・ゲスト紹介	会長 古屋 義夫君
・委員会報告	
・ポール・ハリス・ソサエティ認証状授与	古屋 義夫君
・会長挨拶	
・新年例会	
・幹事報告	幹事 速水 敬志君
・点鐘	会長 古屋 義夫君

## 今月の歌

「一月一日」  
年のはじめの ためしとて  
終わりなき世の めでたさを  
松竹たてて かどごとに  
祝うきょうこそ 楽しけれ

【和食ランチ】  
先付：胡麻豆腐  
魚料理：鯖揚げ出し 春野菜添え  
蒸し物：蓮根茶碗蒸し  
食事：牛蒡炊込みご飯 香の物 赤出汁  
デザート：林檎のコンポート

	1月26日(金)	2月2日(金)	2月9日(金)	2月16日(金)
例会予定	例会 12:30~ 社会奉仕法人 日本介助犬協会 卓話 広報チーム 福井 誠也様 広報チーム 石田 夢果様 広報チーム 広報犬ピト君	第8回理事会 11:15~ 例会 12:30~ 祝福 警察署員表彰 卓話警察署長 佐々木 好三様	例会 12:30~ 卓話 野浪 正毅君 日比 雄将君	例会 12:30~ クラブフォーラム 社会奉仕委員会

**先週の記録**

**幹事報告**

**幹事 速水 敬志君**

2024年1月12日(金)第2576回 1月第1例会の幹事報告をさせていただきます。

まずは報告に先立ちまして能登半島地震で被災され、お亡くなりになりました方々と被災された方々にお悔やみとお見舞いを心より申し上げます。

それでは、あけましておめでとうございます。

本年は新年早々、天災・大きな事故から始まりましたが皆様方に於かれましては幸多き年になりますよう祈念申し上げます。

それでは幹事報告をさせていただきます。

まず、本日祝福を受けられた皆様おめでとうございます。そして新年に相応しい卓話を北健司くん、松尾隆徳くん、ありがとうございます。生涯学習、、、私も一生をかけて求めていきたいと改めて大変勉強になりました。

さて、例会に先立ちまして第7回理事役員会がございまして審議事項が4件、報告事項が2件ございました。

第1号議案：12月決算承認・開始貸借対照表承認の件

第2号議案：New あしながプロジェクト実施の件

第3号議案：春日井ロータリー旗スポーツ少年団サッカー大会への協賛の件

第4号議案：能登半島地震義捐金についての件

が上程されまして全て全員一致で可決承認されました。

この中で第4号議案、能登半島地震義捐金についてですが義捐金を姉妹ロータリークラブである氷見ロータリークラブを通して任意ではありますが1人、一口10,000円を皆様にお願ひし60万円を義捐金としてお渡しいたします。60万円の不足分はニコボックス会計より支出させていただきます。皆様、ご協力のほどお願ひ申し上げます。

そして報告事項2点、第1回RFFチケット予約のお願いと2023-24年度 東尾張分区IMのご案内がございまして、RFFのチケットは例年通り一人2枚ずつ購入させていただきます。IMにつきましても今年は地区大会を主幹する事もあり全員参加とさせていただきます。

次週予告です。

次週は新春例会として18時より夜間例会となります。アルコールの提供もございますので車でのお越しはご配慮をお願いします。26日は社会福祉法人、日本介助犬協会の卓話です。月が変わって2月2日は例会に先立ちまして理事役員会がございまして、プログラムは祝福と警察署員表彰と佐々木春日井警察署長の卓話です。9日は会員卓話を予定しております。

以上、幹事報告でした。

**出席報告**

**委員長 長谷川久幸君**

会員	52名	出席40名	出席率76.2%
先々週の修正出席		休会	休会

**ニコボックス報告**

**委員長 長谷川久幸君**

○おめでとうございます。 古屋 義夫君  
松尾隆徳君、北健司君、両名の卓話  
楽しみです。

○北さん、松尾さんの卓話が聞ける喜びで！ 速水 敬志君

○年賀、多くの方からいただきました。ありがとうございます。私は目下、書く余裕もなくなりました。無礼をお許しください。 場々大刀雄君

○明けましておめでとうございます。アテンダンス表彰をもらう喜びで。 加藤久仁明君

○アテンダンス表彰を受ける喜びで。 川瀬 治通君

○明けましておめでとうございます。満80歳誕生祝を迎える喜びで。 清水 勲君

○卓話を聞ける喜びで。また祝福を受ける喜びで。 芝田 貴之君

○明けましておめでとうございます。今年は地区大会の年です。皆様、宜しくお願い致します。 成瀬 浩康君

○本年もよろしく。気を引き締め、油断なく！ 松尾 隆徳君

○太田さん、オーストラリアでの演奏、頑張ってください。 栃本 正樹君

○本日、卓話をさせていただきます。北 健司君

○能登支援、ふるさと納税も活用しましょう。 青山 博徳君

○祝福を受ける喜びで。 風岡 明憲君

○日比さん、森部さん、小川さん、色々ありがとうございます。ロータリーの友情に感謝です。 下田 育雄君

○明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。 岩村 幸正君

○祝賀を受けておめでとうございます。 大原 泰昭君

○祝賀を受けておめでとうございます。 小川 長君

○祝賀を受けておめでとうございます。 岡本 博貴君

○祝賀を受けておめでとうございます。 加藤 茂君

○祝賀を受けておめでとうございます。 近藤 太門君

○祝賀を受けておめでとうございます。 下別府正樹君

○祝賀を受けておめでとうございます。 大西 信之君

○祝賀を受けておめでとうございます。 久米 正俊君

○祝賀を受けておめでとうございます。 鈴木 克幸君

○祝賀を受けておめでとうございます。 三上 努君 森部 清孝君 水谷 高広君

○祝賀を受けておめでとうございます。 峠 テル子君 藤川 誠二君 和田 了司君

○祝賀を受けておめでとうございます。 小川 茂徳君 小柳出 和文君 加藤 宗生君

○祝賀を受けておめでとうございます。 筒井 康広君 長谷川 久幸君 菱川 一馬君

○ご協力ありがとうございます。

出席・ニコボックス委員会

## 卓話

## 北 健司君

<はじめに>

皆様新年あけましておめでとうございます。大西プログラム委員長のご指名を頂戴いたしましたので、僭越ながら本日卓話をさせていただきます。

今からちょうど20年前になりますが、2004年に「生涯学習」というテーマで卓話をさせていただきましたが、本日は「生涯学習パート2」と題しまして20年前の検証と、若い方々への提言。さらに自分自身のこの先の20年を見据えてお話しさせていただきます。

人生を有意義で豊かなものとするため、また私達全員が直面する課題の一つであります高齢化社会への対応についてお話させていただきます。最後までお付き合い宜しくお願い致します。

<生涯学習の由来>

世界では紛争や貧困などさまざまな理由により教育を受けられない子供たちがたくさんいますし、教育を受けられずに育った大人たちもまた厳しい環境にあります。

1965年、国連教育文化機関（略してユネスコ）の成人教育推進国際委員会が、人間の一生涯のあらゆる場において学習の機会が確保されることを目的に「生涯教育」として提唱したのが最初とされています。

わが国では昭和60年の第1次臨時教育審議会答申で、高齢化社会における生涯学習社会の重要性が提起されました。春日井市でも生涯学習課の設置とともに、それまで市内の公民館などが独自に開催していたさまざまな教室や講習会などを、春日井市の生涯学習講座として扱うようになり、当時の広報では「生涯学習の広場」と言うコーナーで一元的に市民に紹介されるようになりました。

<高齢化率>

人間の一生涯は、乳幼児期、少年期、青年期、成人期、そして高齢期に大別されます。幸いにして我が国には世界に誇る義務教育制度があり、就学率、識字率ともに世界一であります。日本の問題は高齢化でありました。

高齢化の指標のひとつである「人口高齢化率」とは65歳以上の人口の割合を表します。国連の高齢化の指標は7%ですが、2023年の日本の高齢化率は29%で日本は世界でも類を見ない高齢化社会を迎えています。早々と世界に先駆けて到来してしまった私達の高齢化社会ではありますが、せめて「豊かな文化的先進国」と言われたいものであります。(参考:能登半島地震の珠洲市52%、春日井市26%)

<私と生涯学習との出会い>

私と生涯学習との出会いについて触れさせていただきます。

わたしは平成6年から植物園で年4回の「バラの栽培管理講習」をお引き受けし30年になります。当時は生涯学習とは無縁で、単なるバラの園芸講習を担当していましたが、講習を担当して間もなく植物

園の園芸講習が市の生涯学習講座となったのを機会に、生涯学習を知らずして生涯学習を語るなかれと、一念発起し50歳を過ぎて通信教育の生涯学習指導者養成講座を約2年かけて受講し、生涯学習1級インストラクターを取得しました。これはバラ栽培に限らず、さまざまな分野での生涯学習の指導者養成講座でございました。

<若い人への提言>

子育てもひと区切りつき、生活にゆとりの出てきた中高年の生涯学習への願望は強いものがあり意欲も旺盛ではあります。高齢者学習の主なものを大別しますと、趣味や教養的なもの、伝統的な芸能や文化に関するもの、健康やスポーツに関するものなどがあげられます。しかし現実には趣味を持たず、自分の求めるものをも見出せず、場当たりの興味本位な時間とお金を費やしている人達が以外に多いように思われます。

65歳の定年を迎え、あるいは事業を後継者に引き継ぎ、引退してそれから何かをしようとしてもなかなか難しい。体は思うように動かず、体力は衰え、細かな字は読み辛くなります。ましてや若い人に初歩的な指導を受けることや、教を乞うことはなかなかできるものではありません。

40代50代の人たちは目の前の仕事に打ち込むことが求められています。中間管理職として、あるいは職場で重要な地位の付くことも多く、強いストレスの中にいます。家庭に戻れば子供の教育費や住宅ローンなど経済的にも大きな負担を抱えています。ダブルインカムが普通の時代となり、家庭内での役割分担もあります。仕事以外の趣味や教養に向き合うゆとりはなかなか見いだせないのではないのでしょうか。ましてや退職後の充実したライフワークを考える余裕は無いのが現実ではないのでしょうか。

人生100年の時代を迎え、退職後の20年30年を豊かに有意義に過ごすために過去にとらわれない新しい発想で、老後の人生のための入り口を、無理のないやり方で見つけてほしいと思います。

私の持論に「何事も10年続ければ「サマ」になり、20年続ければ「モノ」になる」があります。学生時代から積み上げた趣味は大切にしながらも、50代から新しく始めることでも10年、15年と続けることで知識も技能もそれなりに「サマ」になり、65歳で引退するころには仲間もでき、楽しんで楽しむまでになっているかも知れません。

人間社会の中で生涯学習の糧はやはり人との関わりであろうと思います。たとえそれが優れた技術や知識であっても、孤立無縁では喜びは乏しいのではないのでしょうか。仮に技術は劣っていても、人々に感動や喜びを提供したり、仲間との楽しい学習は生き甲斐にもなります。単に個人の知識や技術の向上をめざすだけでなく、家族や友人、あるいはグループなどの集団学習の中で互いの人格を尊重し、高め合い、楽しみながら学習できる環境が求められているように思います。

## <さまざまな生涯学習>

私の楽しんできた生涯学習のいくつかを紹介し  
ます。

バラ栽培は単に花を楽しむだけでなく、高度な栽培  
技術習得のほか、バラと人間との関わる歴史や関連  
情報も多く、一応それなりに知的で奥の深い趣味で  
あると思っています。バラ好きが集まり、楽しく  
語らいながら情報交換したり、バラ展で多くの方に  
感動を提供できるのも喜びの一つであります。

能楽は日本の文化芸術の一つの極みとして、仲間と  
ともに深く打ち込めることに限りない喜びを感じ  
ています。

スキーは今も多くの高齢者と共に楽しんでいま  
す。今シーズンも北海道、志賀高原、蔵王など14、5日  
は滑る予定しています。まだまだ新雪にリズムカル  
で美しいシュプールを描き続けたいと思っていま  
すし、一方で加齢による身体能力低下に備え、シニ  
アメソッドの研究を続けています。

ロータリークラブの活動も素晴らしい生涯学習で  
あると思います。親睦と職業奉仕の原則を学び、企  
業倫理を高める。崇高な理念や、それぞれに素晴ら  
しいテーマを持って事業に取り組んでいる仲間が  
集うロータリーも最高の学びの場であると思ってい  
ます。

農場では四季折々の様々な作物と向き合い、栽培技  
術を磨き収穫の喜びを味わっています。農作業は、  
妻と二人の強靱な基礎体力を保持するための、日々  
のトレーニングジムでもあります。多くの仲間たち  
が農場に集い、会話を楽しんでいます。

体力の低下とともに離れた世界もあります。私は長  
く山を歩いてきました。多くの山岳書籍をむさぼり  
読んだ時期もありました。歳を重ね、記録を残し、  
感動の場面を写真に撮り、あるいは随筆にも書きと  
どめました。自分の踏破した足跡を残すことの大切  
さを痛感しています。

## <私の考える生涯学習の意義>

知的で文化的な生活、充実した時間、あるいは豊か  
な人間関係、そして生きがい等、生涯学習は私達の  
これから進む高齢化社会での切り札となるのでは  
ないかと思っています。

脳の活性化のために手先を使い、日々体を動かす。  
あるいは、人と語り、書くこと、読むこと、考  
えること。さらには覚えようとするのが大切では  
ないでしょうか。楽しみながら真剣に取り組むこと  
ができる、そんな環境に身を置きたいものでありま  
す。

多くの仲間と共に、一人の生涯学習実践者として、  
伝えることの喜びと、教えられることの幸せ、そし  
て共に学べる楽しさを大切にしていきたいと思っ  
ています。学ぶ姿勢を持ち、歳をとっても教えを乞  
う心の豊かさを持ちたいものであります。「はつら  
つと人生を謳歌したい」ものであります。

時間が参りましたのでこの辺で終わらせていた  
だきます。

長時間のご清聴、ありがとうございました。

## 卓話

松尾 隆徳君

(卓話要旨)

1. ロータリーメンバーは社会から選ばれた高貴な  
者、リーダーと考え、それに値する品格・徳を身に  
着ける事・・・道徳の実践と高き信仰心。
2. 仕事・事業を通して、その地域社会に貢献する。
3. 社会に貢献するとは
  - (1)仕事、事業を通じて関係する全ての人々を幸福  
に導く。幸福とは心と物の両面。  
心： 安心。安全。期待されている。充実して  
いる。まかされている・・・  
物： 生きるに足るお金
  - (2)仕事・事業を通して、正当な利益を出し、社会  
に貢献する。その順位
    - ①税金を納め、国家に貢献。
    - ②働く社員の給与を上げる。
    - ③協力者（外注先、納入業者）に
    - ④お客様に
    - ⑤次の幸せを創り出す新規投資
    - ⑥内部留保
    - ⑦出資者への配当利益を出さない企業は悪。お金儲けは目的では  
なく幸福への手段。
4. 心構え、視点、視野
  - (1)仕事・企業は世のため人のために存在し、永続  
さすこと。
  - (2)人は徳の高い人のもとに集まる。徳は才能に優  
れり、才能はお金で買える。
  - (3)お天道様が見ておられる。
  - (4)お先にどうぞ
  - (5)神の加護、先祖・両親・先輩のお陰で今日があ  
る。
  - (6)正しいか、正しくないか。(判断基準)  
美しいか、美しくないか。  
世のため、人のためになることか。
5. 徳を身につける。  
徳の高い人のもとに人は集まる。  
↓ ↓  
社長・経営者 社員・才能  
人の喜びを我が喜びとする人。  
「福德一致」
6. 二代目、後継者  
創業者の築いた土俵で相撲をとる2代目。  
土俵がなければ相撲はとれない。  
会社の無形資産の最大のものは「創業者精神」  
二代目の功績は創業者の偉業の中に含まれる。  
守成の経営。「貞観政要」  
創業者を全面受容。謙虚に。

以上



点鐘 会長 古屋 義夫君



祝福司会 風岡 明憲君



米山奨学金授与 シャペーリニク・カテリーナさん



祝福 会員誕生日



委員会報告  
出席・ニコボックス委員会 久米 正俊君



祝福 結婚記念日



祝福 アテンダンス表彰



幹事報告 幹事 速水 敬志君



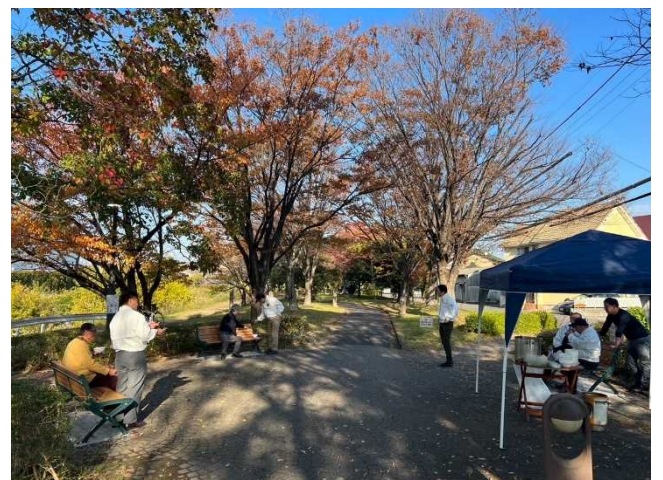
卓話 北 健司君



ふれあい緑道ベンチ寄贈①



卓話 松尾 隆徳君



ふれあい緑道ベンチ寄贈②